

暑い夏も英語で楽しく！

7月23日 ▶ 7月27日 開催

イングリッシュ サマー スクールに参加した小学生に、英語活動への抱負やALTとの交流について話を聞きました。



ALTの先生に英語で言いたいことが伝わったときが嬉しいです。

井出 結菜さん(大原間小4年)



英語を書くのも話すのも、もっとうまくなりたいです。

岩谷 昊空さん(波立小5年)



家族で外国に行ったときにも、英語で話せるように頑張りたいです。

久保 柚稀さん(西小3年)



ALTと学校でよく会うので外国人に緊張しなくなりました。

菊地 温さん(共英小5年)



ALTと一緒にいるときの明るく楽しい雰囲気が好きです。

手塚 未教さん(三島小5年)

## Topic:2 English Summer School



**大盛況の夏季英語プログラム**  
夏休み中に市内小・中・高校生を対象に毎年開催されている「イングリッシュ サマー スクール」。さまざまな年齢の子どもたちで構成されたグループを複数のALTが終日担当し、一緒にゲームやスポーツなどを行います。平成26年に始まって以来、参加者が増え続け今年度は千人を超えるまでになりました。  
参加した子どもたちは、うまく英語が話せず、もどかしい思いをすることも。そんなときは、文法や発音を意識し過ぎず、分かる単語を並べて何とか伝えるようALTが促します。こうした失敗を恐れない気持ちを持つことが大きな財産となり、もっと英語を話せるようになります。という動機付けにもつながります。

## 実はこんなところでも！ ALTの保育園・幼稚園・認定子ども園訪問

学校だけにとどまらないALTの活動。ALTが年に数回、市内の保育園や幼稚園、認定子ども園を訪問しています。子どもたちの年齢に合わせてプログラムを考え、一緒に英語でゲームをしたり、給食を食べたり、さまざまな交流をしています。幼い頃から外国人が身近にいる環境が、子どもたちの国際性を豊かにします。



# 互いに分かち合う Communication

本市の英語教育で重視されるコミュニケーション力。この力を伸ばすには、外国人と接する機会をいかに増やすかがカギとなります。そこで、市では独自の先進的なプログラムを作成。子どもたちがどのように英語を学んでいるのか、事例を紹介します。



## Topic:1 Global Communication Day



**世界の多様性を知る**  
英語教育の強化に向けて、平成26年に始まったのが「グローバル コミュニケーション デイ」。この取り組みは、年に2回ほど各学校に10人前後のALTが終日派遣されるといふもの。各学校が毎回プログラムを練り、ALTの出身国の文化紹介や日本の遊びを楽しむなど、英語の理解度に合わせて学年ごとにさまざまな活動を行います。  
その目的は、世界には生まれ育った環境や文化が自分とは全く異なる人もいることを幼いうちから知ってもらうこと。そして、こうした多様な人たちと共通の言葉を使ってコミュニケーションを取ることの楽しさを体験してもらうことです。  
子どもたちの中には、普段から接している自分の学校のALTに対しては、慣れた様子で話しかけていても、初めて出会う他校のALTに対しては、戸惑いを見せる子もいます。しかし、授業が始まり緊張がほぐれてくると、楽しそうに笑顔を見せ、ALTと積極的にコミュニケーションを取ろうとします。この活動を通して、子どもたちは、見た目や生まれ育った国が違って、ともに時間を共有することで心が通じ合えることを身をもって体験しています。